

<自由討論 トピックス>

○ 地域活動の社会的認知をどう得るか

コメンテーター 大谷 新太郎(阪南大学 准教授)

- ◆地域活動の社会的認知をどう得るかについて。地域住民はもちろん、行政や地域の他の団体や機関、さらには地域外の人にも活動を知ってもらう必要がある。
- ◆社会的認知を得るための工夫の事例報告。メディアに取り上げてもらったり、人的ネットワークを使って情報を発信したり共有する。また、地道な活動で汗を流しながら着実に実績を積み上げていくうちに、色々な団体や企業、学生らが仲間に入ってくる。そして彼らの活躍が評価される場を提供することも取り組みのひとつとなっている。
- ◆スタートしたばかりの地域活動の場合は、情報誌を出しても近隣住民や行政などに自分たちがやっている内容がうまく伝わっていないという悩みも。
- ◆本当は行政から補助金を受けずに自前でやりたいけれども、補助金を受けると行政サイドで「こんなことをしています」と宣伝してくれるので、結果として観光客が増える。
- ◆地道な活動を続け、その中で人と人とのつながりをつくる。その結果、人が人を呼ぶという流れになると、社会的認知を得るにはうまくいくだろう。
- ◆関係省庁が横に連携しながら地域活動に取り組んでいる人たちに少しでも補助金や助成金をつけるように、観光・地域づくり関連施策を講じている。よって、NPOやボランティア団体は独自に、または市町村を通じて交付金を応募してもらい、行政と一緒に地域づくりをしていくこともできる。

